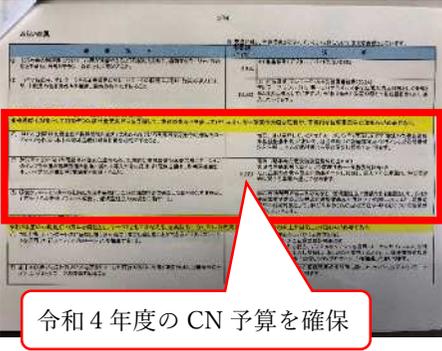


<b>安城市</b>	所属議員	稲垣退三、辻山秀文、守口晶治
------------	------	----------------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
<b>具体的取り組み 到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における電気自動車等の普及を図るため、集合住宅（マンション・アパート等）に設置する充電インフラ整備に対して'22年度までに補助金を確立させる。</li> <li>・'25年までに公用車の電動化率20%及び老朽化した充電ステーションの更新・整備を加速させる。</li> </ul>	
<b>前回まで 活動状況</b>	<p>'21年10月4日、令和4年度に向けた政策要望を神谷市長へ提出。</p> <p>'21年11月3日、嶋口グループにて、先進事例として（株）デンソー安城工場製作所殿を訪問し、工場から排出されるCO<sub>2</sub>ゼロを目指して、CO<sub>2</sub>循環利用する実証施設「CO<sub>2</sub>循環プラント」を視察。</p> <p>自治体への要望として、「再生可能エネルギーの確保」「インフラの整備」「地域間の連携」であることを認識しました。</p>	
<b>今回 具体的活動</b>	<p><b>① 「令和4年度に向けた政策要望」の回答を受領</b></p> <p>社会情勢や環境変化ならびに新型コロナウイルス感染症の対応も鑑みて、“豊かさ”と共に“幸せ”を実感できる5つの要素「5K（健康・環境・経済・きずな・子ども）」と行財政運営の6つのカテゴリーで35項目の要望に対して、次年度予算に多くが反映されました。カーボンニュートラル推進事業、自治体DX推進事業、三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト推進事業他（予算総額134億1,650万円余）今後も皆さんの声を市政へ届け、施策に反映できる様に取組んで行く。</p> <p>《回答書抜粋》</p> <p><u>カーボンニュートラル（脱炭素化）の推進</u></p> <p>地元産業の育成や費用対効果を十分に検討し、導入する公用車は、脱炭素社会に資する車両の選定に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車等充電設備設置費補助金 4,500千円</li> <li>・次世代自動車用充電インフラ管理サポート業務委託料等 729千円</li> </ul> <p><u>資源循環とごみ減量の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック対策啓発用品等購入費 379千円</li> <li>・廃プラスチック再生利用業務委託料 3,800千円 ←BtoBリサイクル法導入（'22/4～）</li> </ul> <p><b>② 代表質問にて「脱炭素化」に関して市の取組みを確認</b></p> <p>3月定例議会（3月4日）の代表質問にて、“安城のみらいを元気にするプロジェクト”の健幸プロジェクト3まちづくり「脱炭素化」に向け、これまで・これからの取組みについて質問を行う。市からは環境クリーンセンターのごみ焼却施設を「エネルギーセンター」と位置付け、電気や蒸気、温水に加え二酸化炭素も資源として捉え、資源エネルギーの地産地消に向けた先進的な活用方法を調査している所である。国は「地域脱炭素ロードマップ」を策定し、「脱炭素先行地域」を選定する方針であり、本市も応募に向けて検討を開始するとの答弁を得た。</p>	<p><b>【図や活動の様子が分かる写真など】</b></p>  <p>2月2日会派要望に対する回答を受領</p>  <p>令和4年度のCN予算を確保</p>
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各定例議会での一般質問や委員会等にて行政側へ進捗状況や課題提起、提案等を実施して行く。</li> <li>・令和4年度の会派行政調査にて、CN先進自治体を調査研究して行く。</li> </ul>	